



# 議会だより

2016年8月1日発行 第49号



あしたに向かって  
ジャンプ!!

■ 定例会 .....	2
■ 委員会報告 .....	4
■ 一般質問 .....	6
■ 【特集】議会の仕組みは? .....	17
■ 町民の声、あとがき .....	18

# ことうら創生の実現に向けて

6月議会は7日から17日まで開かれ、27件の議案が審議されました。

補正予算の中には、赤碓新港に進出する水産養殖企業への補助金や農産物を活用した観光商品開発プロジェクトなど地方創生関連予算が含まれており、27年度から繰り越された事業と併せて、活力ある町づくりに向けて本格的に始動することになりました。その他、請願が1件、委員会での審議を経て、本会議で議

決され、関係方面に意見書が送られました。（「請願の審査結果」参照）

また、今回の一般質問において、通告のあった文章を「町長が十分読んでいなかった」ということと、「役場機構図の取り扱い」について、議会運営委員会で協議され、議長が町長に誠実に対応するよう申し入れた。そして、最終日の本会議前に町長が今後誠意をもって対応すると回答した。

## ◆平成28年度補正予算の主なもの

①ふるさと納税を活用した災害復興支援策	100万円	・高齢者の活動実態調査	200万円
②生活保護業務等の制度改革に伴う総合行政システム改修委託料	243万円	・企業立地支援事業補助金（赤碓新港）	4000万円
③マイナンバー事務の委託経費	434万円	⑤社会福祉協議会が実施する包括的総合相談ネットワーク事業補助金	433万円
④地方創生推進交付金事業関係では ・農産物を活用した観光商品開発プロジェクトの経費	550万円	⑥町道別所東線改良工事（ことうら物産館隣接）に伴う埋蔵文化財調査費	1785万円

区分	議案名	補正額	補正後	結果
補正予算	一般会計補正予算（第1号）	1億202万円	106億5702万円	原案可決
	国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	△72万円	26億9383万円	原案可決
	下水道事業特別会計補正予算（第1号）	61万円	15億1699万円	原案可決
	介護保険特別会計補正予算（第1号）	43万円	22億7653万円	原案可決
	一般会計補正予算（第2号）	1800万円	106億7502万円	原案可決
条件	総合計画策定条例の制定について			原案可決
	ふるさと未来基金条例の一部改正について			原案可決
	子ども・子育て会議条例の一部改正について			原案可決
	心身障がい者医療費補助条例の一部改正について			原案可決
	高齢者福祉サービス事業手数料の徴収に関する条例の一部改正について			原案可決
その他	民俗資料館条例の一部改正について			原案可決
	老人ふれあい工房の指定管理者の指定について			原案可決
	八橋ふれあいセンターの指定管理者の指定について			原案可決
	三本杉ふるさと分校・琴浦町南部ふるさと広場の指定管理者の指定について			原案可決
	船上山人材活用加工販売施設の指定管理者の指定について			原案可決
	上中村辺地に係る総合整備計画の策定について			原案可決
	大父辺地に係る総合整備計画の策定について			原案可決
	山川辺地に係る総合整備計画の策定について			原案可決
	国実辺地に係る総合整備計画の策定について			原案可決
	大熊辺地に係る総合整備計画の策定について			原案可決
提議出員	宮木辺地に係る総合整備計画の策定について			原案可決
	建設工事請負契約の締結について [琴浦町情報通信利用環境整備推進工事（赤碓地区）]			原案可決
	議会基本条例の一部改正について			原案可決
	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について			原案可決

※この一覧に記載したものの以外に「専決処分」が5件あり、承認しました。  
※議案名は、正式なものではなく簡素化しています。

補正予算に対する

質疑

質問 前田議員

中学校の相撲場の撤去工事費150万円の内容を説明していただきたい。

回答 渡辺教育総務課長

東伯中学校の屋外相撲場を最初、修繕と考えていたが、現在使用していないことや、関係団体の意見を聞き撤去の方向で進めたい。

質問 前田議員

解体、撤去するのに150万円もかかるのか。もう少し詳しく説明して欲しい。

回答 渡辺教育総務課長

現在見積もりを取っておりますが、盛り土は残してほしいという希望もあり、屋根部分だけを撤去することになれば、もう少し落ちるのではないかと考えております。

## 請 願

番号	件名	提出者	紹介議員	要旨	委員会付託	委員会の意見	結果
請願第2号	地方財政の充実・強化を求める請願	自治労鳥取県本部 執行委員長 西村 裕生 琴浦町職員労働組合 執行委員長 住吉 康弘	澤田 豊秋	財政再建のために、不可欠な公共サービスが削減されれば、国民生活と地域経済に疲弊をもたらす。 来年度の地方財政の検討では、歳入・歳出を的確に見積もり、人的サービスとしての社会保障予算の充実と地方財政の確立ができるよう政府に求める。	総務	願意は妥当と認める	採 択

### 賛否が分かれた請願の起立採決による審議の結果

請願	件名	審議結果	議員																		
			賛成	反対	大平 高志	澤田 豊秋	桑本 賢治	語堂 正範	山田 義男	藤堂 裕史	藤本 則明	新藤 登子	高塚 勝	川本 正一郎	小椋 正和	青亀 壽宏	前田 智章	桑本 始	井木 裕	手嶋 正巳	
請願	地方財政の充実・強化を求める請願	採択	12	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議

議案については右ページの通り全会一致で可決しました。 ○=賛成 ×=反対 欠=欠席 議=議長

反 対

高塚議員



今年度から導入されたトップランナー方式、インセンティブ改革は問題もあるが、廃止すべきでなく進めていくべきで、反対です。

賛 成

新藤議員



町の財政の充実のための請願であり、賛成する。

賛 成

澤田議員



地方財政と社会保障の重要性を直接国に訴えて、地域の公共サービスの水準を守るためにも、委員長報告のとおり賛成です。

# 委員会報告

## 総務

6月13日、本委員会所管の聞き取りを行い、活発な質疑が行われた。

コンビニ収納状況の質問があり、税務課より軽自動車税の約10%が収納されたと報告があった。

船上山の販売施設の状況の質問があり、商工観光課より、土・日オープンして、うどん、そばを販売しているが、利用者は少ないと聞いているとの報告があった。

目新しい案件は、新警察署の名称の応募方法について説明された。また、請願1件、地方財政の充実・強化を求める請願を審査した。

本件は地方財政を良くする



お試し住宅外観

視点より特に反対意見も無く、採択とし、委員会から意見書を発議するよう決定した。

委員会終了後、コトウラ暮らしお試し住宅（釣）の現状と最近の利用状況、子ども遊び場整備事業に係る遊具の撤去状況（下大江）を視察した。

委員長 桑本 賢治



お試し住宅を視察



下大江農村公園の遊具を視察

## 教育民生

6月17日に委員会を開催し、教育総務課からは東伯中学校野外相撲場の撤去について、社会教育課より町道別所東線道路改良工事（物産館ことうら隣接地）に伴う発掘調査について、人権・同和教育課からは住宅新築資金等貸付金に係る収納状況等と、今後の徴収基本計画について説明を受けた。

民生関係では、町民生活課より心身障がい者医療費助成条例の一部改正、福祉あんしん課より高齢者サービス事業手数料の徴収に関する条例の一部改正、子育て健康課からは産後ヘルパー派遣事業等について説明を受け、多くの質疑を行った。

本会議でも問題となった中学校の相撲場撤去工事の予算措置は、よく精査して計上するようにとの意見が出た。

委員会終了後、琴浦町指定有形文化財である光徳寺山門が30年ぶりに茅葺屋根の全面葺き替えが実施され、竣工された状況を視察した。

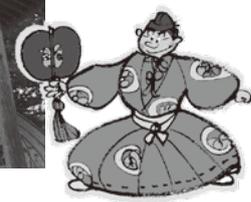
委員長 小椋 正和



光徳寺山門を視察



撤去予定の相撲場



## 農林建設

6月議会では付託案件もなく、6月14日、所管である農林水産建設、上・下水道課、農業委員会事務局から補正予算や事業の説明を受け、協議した。

また、鳥取県と琴浦町から補助を受け、農業分野に進出した鳥取



鳥取部品(株)で農業参入の考えを聞く



現地の白ネギ圃場を視察

部品(株)を訪問し、農業参入の考え方などを聞き、現地の圃場を視察した。

鳥取部品(株)の現在の栽培品目は白ネギ、じゃがいも、ポロタン(栗)だそうです。まだ軌道にはのっていないようです。栽培や経営の指導は県の普及所と農林水産課があたっている。

恒例になっている農業委員会との意見交換会を7月11日に行い、琴浦町の基幹産業である農業の維持・発展について幅広い問題で意見交換した。

行政委員会である農業委員会とチェック機関である議会は、立場や任務は違いますが、農業の発展と言う目標は同じであり、今後とも積極的な連携を確認し合い、有意義な意見交換会となった。

委員長 青亀 壽宏



農業委員会との意見交換会

## 企業誘致

4月26日には、今後の取り組みについて、行政の考え方、町内の誘致企業の考えを聞く会、6次産業化や起業について協議した。

町内視察で、米久おいしい鶏(株)の予定養鶏団地(帽子取)と銀鮭陸上養殖予定地である赤碓新港を視察した。

5月26日には、平成28年度の企業誘致推進体制と今後の方針等について担当課長より説明を受けた。

7月12日には、鳥取県の6次産業化推進施策と取組事例についての研修を開催した。

委員長 新藤 登子



6次産業化についての研修会

## 地方創生

今年3月22日に議決した、地方創生加速化交付金事業(事業費8461万円)がスタートした。

また、国は新たに本年より約5年間に亘って地方創生推進交付金事業がスタートする事となり、町は総事業費5年間で1億8330万円の新事業に着手する事となり、事業計画について、4月26日、5月26日、6月7日、6月17日に全議員で構成される本委員会を開催し、事業内容の聴取協議を行い、本年度分6756万円について補正予算を承認し、加速化交付金及び推進交付金の事業がスタート致しました。

委員長 高塚 勝



農業研修施設として予定されている旧以西小学校

ここが聞きたい

# 一般質問 Q&A

質問議員	質問事項	掲載ページ
桑本賢治	①住民参加による予算づくりについて ②公共施設に係る総合管理計画について ③地方創生について	7
山田義男	①琴浦町の防災対策について	8
高塚勝	①防災について ②子育て支援について	9
新藤登子	①熊本地震の教訓と防災への備えについて ②児童生徒への見守りを強化すべき	10
青亀壽宏	①新規就農者の定着のための体制強化を ②琴浦町の職員の定員と臨時・非常勤職員の任用の改善について	11
大平高志	①期日前投票の取り組みについて ②インターチェンジ整備について ③給食センターについて	12
川本正一郎	①琴浦ブランドづくり「食のるつぼ」について	13
桑本始	①未婚のひとり親への「みなし寡婦控除」の創設について 「みなし寡婦控除」による保育料の減額を！ ②琴浦町定住促進のためのシングルペアレント介護人材育成の創設について “ひとり親に優しい町へ”	14
語堂正範	①入札について ②人事異動・行政体制について ③安心して暮らせるまちづくりの柱となるものはなにか ④明日の琴浦町を語る会における中学生からの提案について ⑤木育について ⑥スポーツへの取り組みについて	15
小椋正和	①防災対策について ②安心安全をPRして企業誘致推進を	16

※青色のつけてあるテーマについて、本紙で詳しく紹介しております。



桑本 賢治 議員

問

予算編成の方針は

答

“安心して  
くらせるまち”を

予算編成

**問** 住民が予算編成の過程でどのようにに関わり、要望はどのようにに反映されるのか。

**答** 山下町長

予算編成の段階での住民の声や要望を組み入れる仕組みはない。サマーレビュー<sup>注1</sup>で行政課題、ニーズの把握に努め、次年度の当初予算編成に備えている。

注1 サマーレビューとは

当初予算に計上された事業の「必要性」「効果」「今後の展望」を夏の時期に聞き取り、翌年度の当初予算編成に反映させる仕組み。

**問** 町道の改善は

八橋地区の中山間地の町道老朽化による危険箇所改善要望はどうなっているのか。

**答** 安全対策を行う  
山下町長

道路の亀裂箇所の補修、ガードレールの設置、グレーチングの設置等、個別の安全対策を行う。

地方創生

**問** 物産館の営業時間延長を

国道9号線と「物産館ことうら」がつかるといふ事で、期待の声が寄せられている。開通にあたって、物産館の営業時間を延長できないか。

**答** 時間延長を要望  
山下町長

物産館ことうらは、駐車場の再設置、観光・移住定住窓口の設置等を行い、来年度さらなる重点化を図っていく。

人を呼び込む事業を展開しながら、各店舗に対して営業時間の延長を要望したい。

**問** 防災無線の設置は

民間アパートなどの広報紙の未配布、防災無線の未設置をどうするか。

**答** 依頼で設置  
山下町長

広報紙は、本庁舎、分庁舎に置いてある。また、ホームページにも掲載している。

防災無線は、管理人または住人の方から依頼があれば設置する。

公共施設

**問** 公共施設の管理計画は

現在、公共施設は189施設、内20年以上経過したものが、142施設ある。このまま更新すると、46億6500万円の費用が必要とある。

統廃合計画を明らかにし、住民との議論が必要ではないか。

**答** 慎重に取り組む  
山下町長

施設の削減が行政サービスの低下とならないように配慮しながら進めていく。

今後は、まちづくりのあり方に影響を与えるため、慎重に取り組む。



岩本部落の町道



山田 義男 議員

**問** 町の防災対策  
マニュアル化は

**答** イメージが  
できていない

防災対策

**問** 熊本地震では、庁舎の損壊で役場の機能が麻痺し、罹災証明書が発行が遅れていると聞く。罹災証明書の発行には様々な人材が必要で、震災判定のマニュアル化や企業との連携が必要ではないか。

**答** 山下町長

罹災証明を組織の協力も得ながらスムーズに対応できるかイメージが出来ていないのが実態。

琴浦町で大規模な地震が起こっても、スムーズにシステムが機能することを考えなければと思っている。

**問** 避難経路の調査は

各地区や学校の避難経路の調査結果が、町に上がってくるシステムになっているのか。

**答** 残念ながら無い  
山下町長

部落単位で、津波の経路、地震の場合、火災の場合どのルートにするとか集落単位でまとめたものは、残念ながら無いのが実態。

**答** カリキュラムで実施  
小林教育長

防災訓練が義務付けられており、年に2回から5回程度行っている。内容は、火災、地震、津波、最近自然災害に加え人的災害、不審者対応の訓練、学校教育の中で心のケア、様々なカリキュラムの中で行っている。

**問** 避難所の検証すべきでは

津波ハザードマップでは、何メートルを想定した避難所になっているのか。

**答** 5・5メートルを想定  
山下町長

津波の高さは、鳥取大学との連携で地図に描いたものがベースで津波が来る到着時間は90分、津波の高さは5・5メートルであり、整合性が取れているものと考えている。

**問** 用地確保は

本庁舎被災による代替庁舎、仮設住宅、災害廃棄物置場の事前の用地確保をしているのか。

**答** 想定が必要がある  
山下町長

本庁舎の代替は、まなびタウン、分庁舎と分散しており、災害時でも機能を果たすと考えている。災害による大量廃棄物は公共的な多目的運動広場などを考えている。仮設住宅は、どこに建てるか想定が必要がある。

**問** ダンボールベッドを

避難所生活が長期になれば身体に負担となり、ダンボールで作ったベッドが被災者に好評と聞く。我が町のダンボール会社と連携を取り、ダンボールベッドを作り、備蓄している。

**答** 企業と協議  
山下町長

予算も含め企業と協議をしてみる必要があると思う。



琴浦町防災マニュアル



高塚 勝 議員

問

大災害時町民の  
避難対応は

答

出来ていない

防災対策

**問** 阪神淡路、東日本、熊本のよ  
うな地震時の避難や対応は  
出来ているのか。

**答** 山下町長

一般の災害については、町の防災  
計画に基づいて年次的に防災訓練を  
行う。

しかし、東日本とか熊本クラスの  
災害が発生した場合は出来ていな  
い。

**問** 外国人への対応は

災害時に、言葉が通じない外国人  
や目や耳や身体の不自由な方などへ  
の対応をどう考えているのか。

**答** リーフレットの作成検討  
山下町長

外国人には国の外国人向け災害情



国際交流財団発行のリーフレット

報アプリの活用を勧め、必要ならば  
リーフレットの作成を検討する。

要配慮者の方は防災計画に基づき  
対応、避難所でのプライバシーにつ  
いては計画の見直しを行う。

**問** 島根原発事故対応は

島根原発事故があった場合、琴浦  
町に多数の方々が避難して来る。そ  
の対応は、防災計画に記載をどうす  
るのか。

**答** 対応は不十分  
山下町長

米子市夜見、住吉、加茂の方が琴  
浦町内総合体育館他19カ所への避難  
が計画されている。

しかし、その対応については不十  
分であり、具体的な取り組みを進め  
なければならぬ。

**問** 保育園、学校での対応は

保育園や学校でのあらゆる災害へ  
の対応はどうかっているのか。また、  
大災害時の家族への連絡と引き渡し  
の対応はできているのか。

**答** 大災害時は不十分  
山下町長

保育園等では毎月避難訓練を行っ  
ているが、大災害時の対応は出来て

いない。

**答** マニュアルは出来ていない  
小林教育長

保護者の安否確認が出来ない状況  
での対応マニュアルは出来ていな  
い。

子育て対策

**問** 学校給食費無料化

兵庫県相生市は、幼稚園、小・中  
学校給食費を完全無料化し、効果を  
上げている。子育て支援の一環とし  
て、ふるさと納税等を利用して学校  
給食費を無料化すべきでは。

**答** 財政上困難  
山下町長

給食の無料化を実施すれば、年  
7600万円が必要となるため、財  
政上困難です。



ふるさと納税のパンフレット



新藤 登子 議員

**問** 非常用持ち出し袋  
チェックの呼びかけを

**答** 啓発をしていきたい

防災対策

**問** 車中泊によるエコノミークラス症候群の発生や断水によるトイレの問題、また高齢者や災害弱者への対応など避難所をめぐる課題がたくさんある。

県危機管理局は、大地震を教訓に各家庭の非常用持ち出し袋の中身のチェックを呼びかけているが、町の対応は。

**答** 山下町長

避難所の生活環境や支援体制について検証していきたい。

非常用持ち出し袋の準備や中身の食料等の更新は大事であり、町でも広報等で啓発していきたい。

**問** 町独自で防災の日を

県の消防防災課は、我が家の防災の日を決めることを推奨している。町独自で防災の日は考えられないか。

**答** 検討する  
山下町長

地域全体が高齢化が進んでいる中で、身近な安心・安全や防災について、意識が上がってきている。そう

いう中でどういう形がいいのか検討する。

**問** 備蓄品の新たな補充は

熊本地震では、車中泊やテントに避難される方も多かった。大型テントも新たに備蓄することが必要ではないか。

**答** 物資については検討予定  
山下町長

県と市町村の連携備蓄に基づいて20品目備蓄している。今回の熊本地震の教訓で、県は特に避難所運営に必要な物資について検証を行う予定であり、本町も合わせて変更したい。



逢東にある防災備蓄倉庫

**問** 災害弱者への対応は

高齢者、障がい者など、災害弱者への健康・衛生面に目配りしたソフト面の地震対策が行政に求められて

いるが、どういった対策を考えているのか。

**答** 地域防災計画を修正  
山下町長

地震の教訓で特に避難所での要配慮者の居場所が無いことが問題視されており、県では対策の検討を予定している。

町ではその方針を踏まえて、地域防災計画を修正していきたい。

**問** 自主防災組織のあり方は

熊本地震の時に形だけの組織が多く、機能しなかったと警鐘を鳴らしている。防災組織のリーダーを動かすためには自治体が頑張る必要があるのでは。

**答** 引き続き啓発をしていく  
山下町長

自主防災組織が機能していた避難所ではスムーズな運営がなされたと聞いている。組織率を上げていくのは重要であり、区長さんに自主防災組織の組織化について理解をお願いしている。

大災害になればなるほど地域は地域で守る、見守る、助け合う共助が重要と考える。自主防災組織の強化、組織の結成、推進を図るよう引き続き啓発をしていきたい。



青亀 寿宏 議員

問

総務省通知を活用し  
労働条件改善を

答

適正化を図ってきた

労働問題

問

臨時・非常勤が多く働いている。労働条件の改善と住民サービスの向上は相乗効果がある。総務省公務員部長の26年通知を積極的に活用して労働条件の改善をすべきではないか。

答

山下町長

臨時・非常勤職員は不可欠。賃金や労働条件は近隣と比較しても遜色ないものになっている。今後も周辺を考慮しながら見直していく。

26年通知を踏まえ任用根拠を明確化、手続きの適正化を図ってきた。

問

任期付き職員の検討を

任期付き職員を検討してはどうか。資格を持った人を5年の任期で任用する。1年ごとの首切りでなく、実態に合わせて改善するつもりはないか。

答

その精神で採用した  
山下町長

その精神で28年4月から職員採用の年齢基準がオーバーしても保育所の人的構成が不自然になることを補完する職員を採用した。

議論がすれ違っている

問

議論がすれ違っている。私は、3年ないし5年の複数年の任用制度で、相応の給与や勤務条件が適用される臨時・非常勤職員が通達の中にあり、それを適用すれば保育士など経験にふさわしい給与の改善がはかれるのではないか。

答

熟読しながら検討  
山下町長

通知を熟読しながら、人件費のウエイト、将来的な財政構造も総合的に斟酌しながら検討の必要があるかもしれない。

問

通知を読んでいないのか

通告書に通知名まで明記して一般質問に臨んでいるのにそれを読んでいないのですか。読んでこの議会に臨んでいるのですか。

答

読んでいないが判断  
山下町長

十分には読んでいませんけど、そのような判断をした。

問

無責任だ

格差を解消しなければならぬ。町もできる範囲で正当な労働に対し

て正当な対価なり労働条件を保証する、そのことが行政サービスを向上させることにつながる。どういった方向で検討するかを明らかにしないのは無責任だ。

答

以上でも以下でもない  
山下町長

検討すると申し上げている、それ以上でもそれ以下でもない。これまででないこと、どう評価するかも必要であり、検討すると申し上げた。

問

名簿の配布を今からでも

町民に雇われている職員の名簿を町民に公表しないのは背信行為、今からでも配布すべきではないか。

答

やめるべきと思う  
山下町長

組織の中では全部個人名を出してあるものもある。しかし、それはやめるべきと私は思う。今から出すことは考えていない。判断は正しいと思っている。





大平 高志 議員

問

若者が選挙に関心を持つ取り組みを

答

検討したい

選挙

問

若者が選挙に関心を持つように、若者を対象とした期日前投票の立会人、事務従事者の募集を行い、選挙や政治参加の重要性について啓発を行っている自治体がある。この様な取り組みを行う事は考えられないか。

答

源内選挙管理委員会委員長

期日前投票所の立会人は、地域より適任者を紹介してもらうなど、若い人達が選挙に参加できる取り組みを検討したい。

事務従事者について制度上は可能だが、連絡調整や緊急時の対応を考慮すると、町職員が行うのが望ましいと判断している。

問

研究されないか

事務従事者については、行っている自治体の事例もある。研究しないか。

答

検討したい  
源内選挙管理委員会委員長

今後その様に検討したい。

パーキング問題

問

琴浦パーキング北側の整備を

スマートICの整備で山陰道と国道9号をつなぎ、町の玄関口になる構想は、町民の関心事の一つだ。

これに合わせ、琴浦パーキングエリア北側を整備し、町の経済活性化の起爆剤にしてほしいが、周辺土地利用を考えているか。

答

具体的な構想はない  
山下町長

国道9号までの15ヘクタールという広大な民有地の活用は検討材料であり、周辺地域の関係者との意見交換が必要。

現段階では具体的な構想を持ち合わせていないが、今後、官民協働の上検討していきたい。



琴浦パーキング北側の土地

土地利用については

9月議会でも町の玄関として魅力アップを図るため北側の土地利用に触れている。整備したいという思いはあるか。

答

構想を持つ  
山下町長

現実の問題として地権者や法の規制もあるが、北側のことは町として構想を持つと言うことになる。

問

渋滞や事故への対策は

スマートIC開通に伴い、メリツトばかりではなく交通渋滞や事故の懸念もある。町としてどのような対策を考えているか。

答

必要な対策を行う  
山下町長

町道別所中線は平成27年より拡幅工事と歩道の新設工事を行っており、今年度完成予定としている。また、別所中線から物産館に上がる町道別所東線は拡幅と勾配の改良工事に着手する。

踏切についても拡幅と歩道部分の新設工事についてJRと協議中だが改良工事を進めて行きたい。開通後も関係各所と連携し、必要な対応を行う。



川本正一郎 議員

問

「琴浦ブランド」  
「食のるつぽ」推進は

答

物産フェアなどで  
推進

地方創生事業

問

琴浦ブランドづくりと、「食のるつぽ」の推進、琴浦町の魅力発信、PR活動の実施状況と成果、今後の課題は。

答

山下町長

平成25年度から琴浦町がなごる地域ブランド事業で推進している。県内ではイオン日吉津店、県外では守口門真商工会議所の物産フェアなどで「食のるつぽ」グッズを活用している。琴浦町の知名度アップ、琴浦ブランドの拡大にもつながっている。進物用梨の取り扱いも増加しており、リピートして下さる方もおられる。今後の課題は、出店しやすいように琴浦町物産フェアを盛り上げていきたい。



イオン日吉津店での物産フェア

問

シールの活用を

「琴浦ブランド」を、どのように理解して推進するのか。また琴浦フェアや地域での「土間マルシェ」の商品などに、「食のるつぽ」シールを貼って付加価値をつけてはどうか。

答

活用する  
山下町長

地域ブランドは、普遍性のブランドを構築する事で、多くの努力や知恵が必要である。ブランド確立のためには、信頼や信用ということもありますし、総合体として出来るものだと思います。

地域の商品をアピールする為には、オリジナルシールの活用はよいと思う。色々な柔軟な発想もあり、それを活かす事は重要だと思ふ。

問

東京フェアでのPRは

地方創生事業として東京で販路拡大事業もしているが、琴浦フェアでは、「食のるつぽ」や琴浦町の観光・文化財などのPRもしては。

答

工夫する  
山下町長

東京での琴浦フェアは、とっとり・おかやま新橋館で実施する予定で

す。町のトータルな資源の中で個別の商品を位置付けていくという、ブランド化の考え方に基づくものであり、そのような工夫をしたいと思ふます。

問

食育活動は

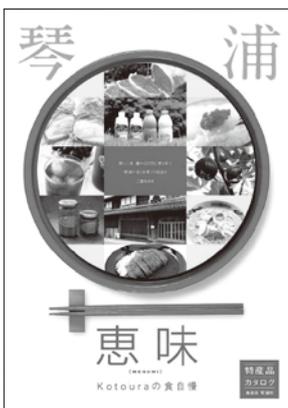
食育活動の一環として琴浦特産品カタログ「恵味」を活用してはどうか、また生産現場への視察や体験学習はどうなっているのか。

答

視察・体験している  
小林教育長

町が作成したパンフレットなどは学習の中で活用している。琴浦町の食文化を伝える資料として教育的ニーズに応じて活用できると思ふ。

総合的な学習の『愛ラブ琴浦』という取り組みをして、大山乳業、かまぼこの生産現場、ミニトマトの栽培現場などの視察をしている。また、米づくり、梨づくり、そばづくりの体験学習をしている。



特産品カタログ「恵味」



桑本 始 議員

問

未婚のひとり親家庭  
保育料の減額を

答

独自判断で導入し  
子育て支援する

子育て支援

**問** 未婚のひとり親家庭への「みなし寡婦控除<sup>注1</sup>」を創設し、町独自の判断で子育て支援（保育料の減額）をする考えはあるのか。また、本町の実態はどうなっているのか。

**答** 山下町長

「みなし寡婦控除」というのは婚姻届のないひとり親家庭は税法の定める寡婦控除が適用されていないため、保育料を算定する場合、同じひとり親家庭に差が生じることは望ましくなく、近隣の市町村の状況を参考にするなどさまざまな角度で検討し、導入に向け準備する。

本町の実態については、戸籍謄本の提出が必要であり、本町では把握していない。

**注1 「みなし寡婦控除」は**

所得税法上の寡婦控除は、離婚や死別などでひとり親となった、年間所得が500万以下の世帯が対象で、1世帯あたり27万～35万円を控除する。納税額に応じて負担する保育料や公営住宅使用料などが安くなる。ただ、未婚は対象外のため、市町村が独自で、所得に基づく利用料計算などの際に「みなし」を行う動きが近年、都市部を中心に広がっている。

介護職の確保

**問** 介護人材不足に手厚い支援を

浜田市ではひとり親で介護職場での勤務を条件に移住後1年間、月額家賃の2分の1を補助する他、高校生以下の子どもがいる場合は月3万円を給付。希望者には中古車を無償提供している。

**答** 移住定住を行っている  
山下町長

介護分野で次世代を担う優秀な人材を確保するか、介護の人材に特化した形での具体的な政策という考えではなく、幅広い人材に移住定住を促している。

………課長の補足説明………

▽藤原福祉あんしん課長  
町内の介護職場で転職事例は把握していますが、ヘルパーは常時不足しており、募集しても応募がないのが現状。

**問** 介護の需要は

団塊の世代が2025年に75歳を迎え、在宅介護中心となれば、定期巡回・随時対応サービス（24時間・365日）も必要になって、介護職の需要が大きくなるが。

**答** 元気な高齢者をつくる  
山下町長

近い将来には、懸念され当然予想できる。元気な高齢者をつくる取り組みをしたい。

………課長の補足説明………

▽藤原福祉あんしん課長  
今年度は、医師会だけではなく、介護事業者、社協も一緒に地域包括ケアシステムを語る会を検討している。



パワーリハビリの様子



語堂 正範 議員

問

「明日の琴浦町を語る会」は続けるのか

答

今後も続けて欲しい 山下町長  
貴重な体験と考えている 小林教育長

生徒議場体験学習

問

「明日の琴浦町を語る会」注1は中学生が提言することが出来る場であり、中学生からは、よかったという意見・感想があったが、これからも続けていくのか。

答

山下町長

アイデアの集計、提案に至る経過まで、大変立派でした。若者らしい意見を聞く機会を今後も続けて欲しい。

答

小林教育長

校長会を通じて、途切れないように体験させてもらえればと思っっている。貴重な体験であり、校長会で伝えていきたい。

問

齋尾廃寺跡については

齋尾廃寺跡を町のシンボルにどの提案に対し、どのように感じ、どのような施策が必要と考えているのか。

答

琴浦町のシンボル  
山下町長

若い皆さんから国の特別史跡・齋

尾廃寺跡という文化財を貴重なものとして、琴浦町のシンボルとして考えていることはとてもうれしい。史跡の本質的価値を解明し、適正保存・活用を協議していく。

注1「明日の琴浦町を語る会」とは

3月1日に教育委員会が主催で、東伯中学校生徒会執行部11名が代表して行った議場体験学習のこと。



生徒の議場体験学習

木育

問

県の事業活用を

県の事業として、ウッドスタート事業と木育注2活動支援事業があった。

もし、次年度設置されれば、活用する考えはないか。

答

推進していきたい  
山下町長

関係課と情報を共有し、推進していきたい。

問

木育キャラバンを誘致は

県が行っている木育キャラバンを誘致する考えはないか。

答

検討する  
山下町長

木育キャラバンの活用については関係課と検討する必要がある。

注2木育とは

木についての様々な体験を通じて、単に木についての理解を深めるだけでなく、鋭い感性や自然への親しみ、森林や環境問題に対する確かな理解の基礎を育むもの。



浦安小学校での木育の学習



小椋 正和 議員

問

防災体制の総点検を

答

課題を検証し  
防災計画の見直しを図る

防災対策

**問** 熊本地震からの教訓として防災体制の点検・見直しについて、どう考えているのか。

**答** 山下町長

熊本地震では、物流の停滞、避難所の環境、被災認定・罹災証明書交付の混乱や庁舎の被災、ライフライン復旧等たくさん課題が出された。これらについて検証し、防災計画の点検・見直しを図りたい。

**問** 防災対策は万全か

地震への対応は、訓練などを含めて今後の防災対策はどのように捉え強化されるのか。

**答** 共助による体制強化を図る  
山下町長

直下型地震への対応は、琴浦町地域防災計画に基づき対応したい。訓練することで、防災意識の高揚や自主防災組織の組織作りなどの体制強化を図りたい。

**問** 公共施設の安全対策は

新耐震基準導入後、非構造部材も含めて本町の安全対策は公共施設に活かされているか。

**答** 非構造部材は未実施  
山下町長

本庁舎をはじめ、避難所となる体育館や各小中学校は新耐震基準以降の建設、大規模改修を実施し基準を満たしているが、地区公民館の5施設の耐震診断が未実施であり、早急に診断を実施したい。  
非構造部材については実施していない。

**問** 夜間の職員参集体制は

夜間に災害が発生する事を踏まえ、夜間の訓練、職員の参集体制の確立は出来ているのか。

**答** 体制整備を図る  
山下町長

夜間の職員の招集と初動体制を整え、職員を対象とした情報伝達、職員参集訓練を実施し、防災意識・知識の向上を図りたい。

**問** 介護施設と災害時連携は

町内には介護施設が多くあるが、これらの施設との災害時連絡はどのようなになっているのか。夜間の災害時対応は迅速に対応できるのか。

**答** 主導的に役割り果たす  
山下町長

町内福祉施設10ヶ所と、一時避難所としての協定締結を行っている。今後も避難訓練や防災計画を確認しながら迅速な対応が出来るよう検討したい。  
夜間の対応は各施設に対して、行政が主導的な役割りを取る事が求められる。



熊本地震の被害の様子

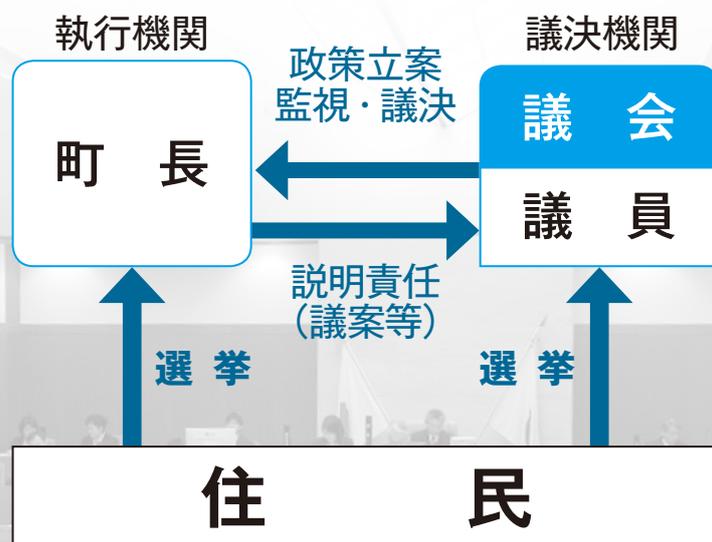
# 議会はどのような仕組みになっているの？

地方議会は、二元代表制で運営されています。

## 【二元代表制とは】

地方は二元代表制、選挙によって首長と議会の議員を別々に選ばれ、首長の権限は予算や条例などの議案提出や人事など、議会は議案の議決などで首長の行政運営をチェックする仕組みとなっている。

## 【琴浦町】 《二元代表制》



**ポイント!**

国会議員は閣僚で組織された内閣を基軸に行政機関として機能することに対し、地方は首長が執行機関の長となっているため、地方議員は議案の議決、行政運営へのチェックという監視機能として存在していることが大きな違いです。

# 町民の声



澤 泰治郎さん

## 交流人口で賑わう街づくり

2013年発表した「増田レポート」は、全国896市町村の自治体にショッキングな課題を投げかけ、地方創生のきっかけとなりました。  
 少子高齢化が一段と進み、定

住人口を追い求めることは厳しい状況にあり、交流人口の増加こそ人口減少の進む地方の重要なキーポイントではないでしょうか。

八橋町（まち）は古くから城下町と栄え、伯耆街道から倉吉（八橋）往来が分岐する交通の要地として人々の往来が多く宿場町、商業の町として発展しました。地元団体の調査で昭和30〜40年代の八橋地内には240数か所の事業所等が存在していました。  
 然し、昭和50年以降国道、山

陰道と幹線道路の開通に伴い人々の往来が激減、脈々と続いた商店は次々廃業に追い込まれ、現在では数軒の閑散とした街に変貌しました。

そこで私たちは失われた歴史、文化、自然を掘起こし各ネットワークと連携協働し、交流人口の増加に向け事業活動を展開しています。交流人口の増加は観光振興と並んで重要な課題で、交流を通じて他地域とのネットワークが形成され、交流が定住へと発展していくことを願い活動を続けたいものです。



小西 みさほさん

## 猫の避妊・去勢手術について

最近、猫の飼い方が少しずつ変わってきていると実感しています。お家の中だけで飼ってくださる飼い主の方が増えてきていると思います。でも、まだ、お外だけで飼われてい

る方も多くおられるのも実状です。

そんな外猫たちが、いつの間にか仔猫を産んで大きくなっていく…かわいそうな猫たちが増えないように、私にできること。考えてみました。

メス猫の避妊手術と、オス猫の去勢手術をお勧めすることです。手術となると、猫ちゃんにとって全クリスクがないというわけにはいかないのですが、獣医療の進歩とともに手術の危険性は格段に減ってきています。

手術後にメス猫が太りやすくなるというデメリットがありますが、雄雌共に比較的小となしくなったという声を聴きます。また、費用の面でも最近では、獣医師会や各市町での助成金制度も充実しています。

手術がまだの猫ちゃんを外で飼っておられる飼い主の方は、猫の避妊・去勢手術をぜひお勧めします！



## あとがき



夕張メロンで有名な北海道夕張市が、10年前多額の赤字を抱えて破綻、行政サービスは切り詰められ、人々の生活は困窮を極めていきます。  
 破綻の原因は、歴代市長の行政の失敗とも言われておりますが、市議会のチェックが不十分であったことも一因です。

いくら市長が事業を計画しても、最後は、必ず議会が承認しなければ、市長は何もできません。地方行政は、17頁に記載の通り二元代表制です。市民は市民代表として、市長と議員を選出し市政を付託しました。夕張市破綻の最大の原因は市長と議員を選出した市民であったと言っても過言ではありません。

琴浦町議会は町民の皆様の付託にお応えすべく頑張っております。  
 （高塚 勝）

### 議会広報常任委員会

- |      |    |    |
|------|----|----|
| 委員長  | 語堂 | 正範 |
| 副委員長 | 大平 | 高志 |
| 委員   | 青亀 | 壽宏 |
| 委員   | 高塚 | 勝  |
| 委員   | 桑本 | 賢治 |
| 委員   | 澤田 | 豊秋 |

### 表紙写真

琴浦町を主会場として行われた郡体を取材。躍動感あふれる写真が撮れました。

（撮影／澤田 豊秋）